



## 大開口から自然を取り込む 明るく温かみある木のリビング

機器に頼ることなく  
夏冬を快適に

ご主人の祖父母の代に建てた家に、夫婦と2人の娘さんと暮らしていたOさん。その家は土間のある昔ながらのつくりで、台所や居間は北側にありました。「リフォームをしながらなんとかやってきましたが、家全体が暗くて寒かった。子どもが大きくなったこともあり、思い切って建て替えることにしたんです。毎年寒さに耐えながら冬を越してきた家族にとって、明るさと暖かさが新居の絶対条件でした。

南側にレイアウトしたLDKには、うづくりで温かみのある無垢の杉板が敷かれ、天井の一部にも杉板をデザイン的に配しました。「吹き抜けにも興味がありました。冬の暖気の流れを考えると天井は低く設定した方が良く、アドバイスされて見送ることに。それが正解で、霜が降りるほど気温が下がる地域な

のに、家の中では暖かく過ごせました。夏の住空間で重要視される風通しも計算されており、南面の引き込み窓を全開にすると、下がり壁を省き大きく取った開口部からさわやかな風がめぐります。「昨年の夏はエアコンをほとんど使わなかったですね」。十分な広さのあるウッドデッキもリビングの一部に。ここで七輪パーティーを開くなど、家族で楽しむ時間が広がっているようです。



ソーラーパネルを搭載した切妻屋根は、集熱効率の高いガルバ葺き。落ち着いたダーク調の外観は、スタイリッシュな印象を与える。

夏はさらりと気持ち良く、冬はやさしい暖かさを感じる無垢床のLDK。窓をフルオープンにして、リビングから庭までを一体と考えて使うことが可能。



①娘さんの個室も1室ずつ設け、ロフトを設置。上部に飾り棚を作り付けるなど細かな部分にも使いやすさを散りばめた。②天井の高さまであるシューズクローク。正面の納戸など、収納を豊富に。共働きの夫婦が帰宅してすぐに声が掛けられるよう、娘さんの部屋は玄関近くに配置した。③床高を20センチ上げた和室は、腰を掛けるのにちょうど良い高さ。

Floor Plan



住宅カルテ

》面積 125.44㎡ (37.90坪)  
延床 125.44㎡ (37.90坪)

》構造 木造軸組在来工法  
基礎 ベタ基礎

建築本体価格帯(万円)

~1,500 1,500~2,000  
2,000~2,500 2,500~

Planning Point

収納率20%。  
広さと自然を感じる家

風の流れを計算しながら窓を配置。風通しを良くすると夏を涼しく過ごすことができ、季節の変化を身近に感じられます。廊下をなくして水回りを集中させるなど動線設計にも配慮しました。7帖分の小屋裏収納など建物全体の約20%を収納に充てたので、居室にモノがあふれることなく、広さを実感していただけます。

Information

株式会社 大成寺工務店  
〒897-0215 南九州市川辺町平山3118  
TEL: 0993-56-1198 FAX: 0993-56-5216  
施工エリア) 鹿児島、南薩



資料請求ハガキ …… No. 23  
巻末の専用ハガキにて資料請求していただくか、左のQRコードから、資料請求フォームにアクセスできます。